

受注入力

受注入力では得意先の受注を入力します。
海外得意先の場合、受注内容を海外文書 (Order ConfirmationまたはPROFORMA INVOICE) に出力できます。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

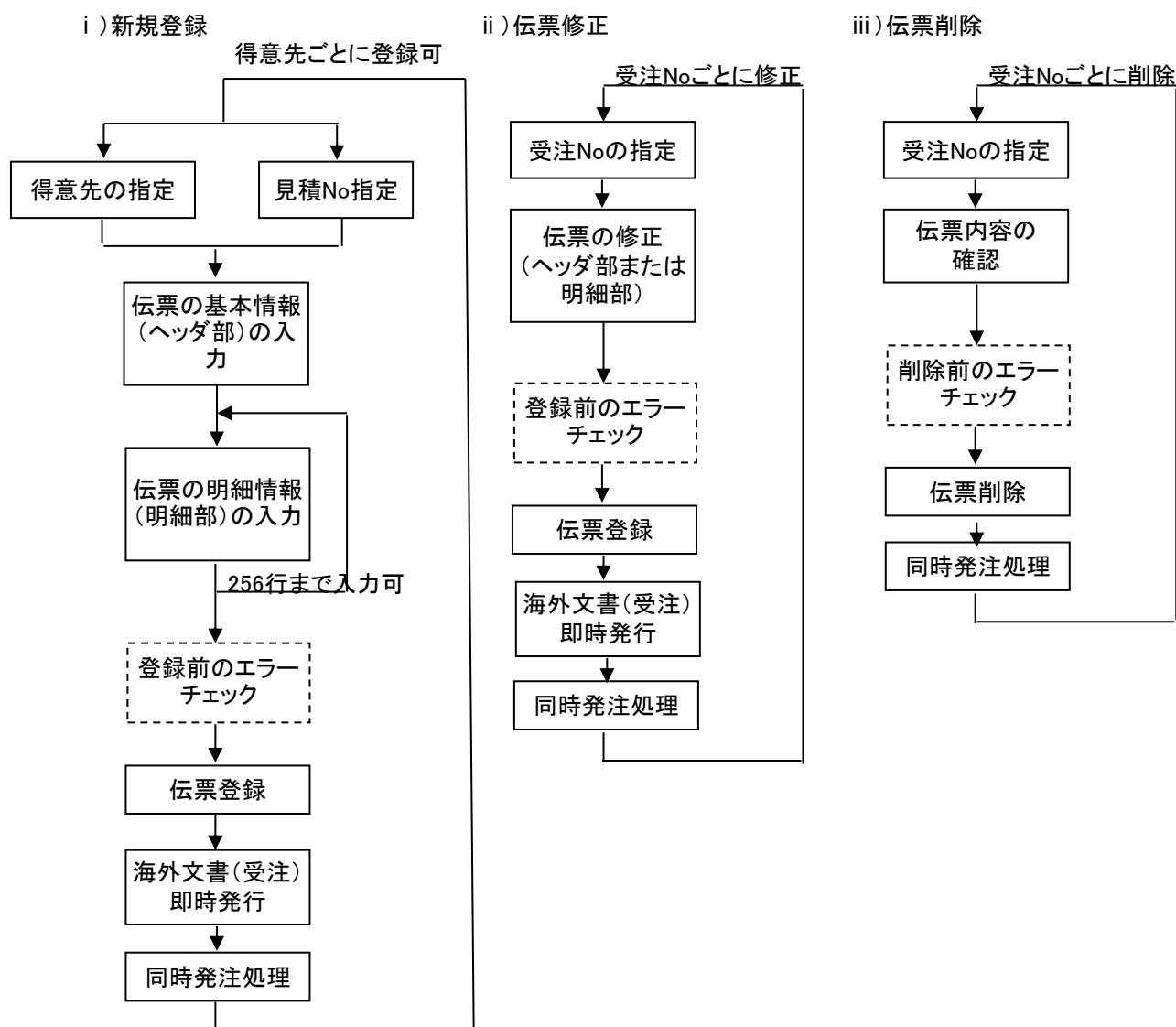
1) 受注入力概要

Point

- ・受注入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 受注から売上へリレー入力することにより、分納も含め、受注残管理が行えるようになります。
 - ② 受注明細表が作成でき、多角度からの受注データ集計や分析ができます。
 - ③ 同時発注処理することで、同じ内容を発注伝票へ複写し、入力する工数を削減できます。※ただし、同時発注する場合には、運用設定で「受注入力で同時発注する」を「する」にします。

- ・見積Noを指定して受注伝票を作成することで、見積伝票の内容をリレーできます。
 - ・何度でも同じ見積Noを指定して受注伝票を作成することができます。
- 既に受注リレー済みの明細行は削除チェックがONの状態初期表示されますので、必要に応じて、削除チェックを変更してください。

・受注入力の操作の流れ



2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

- ・項目によっては、上部メニューの「その他」→「伝票設定」から表示/非表示を設定することができます。
- ・非表示に設定した項目は画面上に表示されなくなりますが、値は設定されます。

受注入力

新規伝票

処理画面(N)

帳票類(P)

マスタ登録(M)

発注確認(H)

その他(O)

伝票指定

仮受注No8

見積No

税処理区分請求時外税

得意先00001

ふくろう商事株式会社

基本情報

承認状況

保留

申請中

差戻

承認

受注日2018/10/11

納期2018/10/11

担当者9999

管理者

事業所

本社

ご担当者名

様

納入先

住所

TEL FAX

部署

地区

現掛区分

掛

前受

件名

先方注文No

メモ

無

摘要

Terms

項目名称	説明
受注No	受注伝票のNoです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。
見積No	見積からのリレーで受注する場合、見積Noを指定します。
得意先	受注した得意先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) <div>Point</div> <ul style="list-style-type: none">・得意先名は、得意先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正できます。・F3キーまたは、ダブルクリックでその得意先の登録画面が表示されます。 ※表示された得意先登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度得意先を指定しなおして下さい。・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定されている得意先は指定できません。
税処理区分	伝票の税処理区分(請求時外税/伝票毎外税など)が表示されます。 伝票の新規入力時は得意先の税処理区分を表示します。修正、削除時は以前に伝票が登録された時の税処理区分の値を表示します。 <div>Point</div> <ul style="list-style-type: none">・税処理区分は伝票の新規入力時のみ得意先マスタの値とは別の値を指定できます。 得意先指定後にEnterキーを押さずにマウスで税処理区分をクリックすることで得意先の税処理区分とは違う税処理区分で伝票を作成できます。 (得意先指定後にEnterキーを押して入力モードに入り基本情報が表示されている状態になった場合は、「取消」ボタンを押下して得意先指定状態に戻ること で税処理区分を指定できます。)

項目名称	説明
受注日	<p>受注日(伝票日付)を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注日には、運用設定で指定した受発注入力期間制限を越える日付は指定できません。伝票登録時にエラーチェックされます。 ・受注日を基準にして月別レートマスタよりレートが取得されます。
納期	<p>受注品の納期を入力します。納期は必須入力です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝票設定にて明細納期を使用する設定の場合、指定したヘッダ納期は明細行にコピーされます。コピー後、明細行ごとに変更も可能です。実際の各商品納期は明細行ごとに判定されます。
担当者	<p>営業担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は得意先マスタの営業担当者(またはログイン担当者。運用設定で指定)です。</p> <p>事業所名は担当者横に担当者の事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更されても伝票の事業所は変更されません。</p>
納入先 コード 納入先名～ FAX	<p>納入先を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>納入先住所3, 4は海外得意先の場合のみ入力できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入先名や住所はマスタから選択せず直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると納入先名から納入先ご担当者名までがクリアされます。
納入先 ご担当者名	<p>納入先のご担当者名を、納入先マスタより取得して初期表示します。 海外文書の納入先担当者に出力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の得意先の場合は入力できません。
部署	<p>相手先の部署名や担当者名などを入力します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて部署マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署コードを入力せず部署名を直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に部署名を変更場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。

項目名称	説明
地区	<p>地区を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタで地区を設定していると新規伝票入力時にその値が初期表示されます。
先方注文No	得意先指定の注文Noを入力します。
件名	件名を入力します。
Ship Via 船名等	<p>海外の得意先のみ入力できます。 海外文書に印字されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名等はタイトルを選択変更すると出力文書のその欄のタイトルも変更されます。
通貨	<p>海外の得意先のみ入力できます。国内の得意先はJPY固定です。 指定された通貨、受注日で月別レートマスタよりレートを取得します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタの通貨が初期表示されます。伝票単位で変更することもできます。 ・通貨が変更されるとレートをマスタより再度取得し、外貨単価、外貨金額が再計算されます。
レート	<p>海外の得意先のみ入力できます。 受注日・通貨を元に、月別レートマスタから初期表示します。 手入力にて変更できます。</p> <p>レートが変更されると、明細行の外貨単価、外貨金額も再度算出されます。</p>
摘要 コード 摘要名1,2	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名1, 2に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名1, 2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。 ・海外文書では Terms の欄に出力されます。
メモ入力 (ボタン)	伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。
ファイル	伝票に関連するファイルを指定できます。参照ボタンからファイルを指定します。 表示されたファイルのパスをクリックするとファイルを表示できます。 ファイルのパスを削除したい場合はクリアボタンをクリックします。
現掛区分	<p>入力中の伝票の現掛区分(現金売/掛売)を指定します。 新規入力時は得意先の現掛区分が初期表示されます。 現掛区分を変更すると明細部の伝区も現掛区分に合わせて変更されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税処理区分が「請求時外税」の伝票の場合、現金は選択できません。 (現金売の場合、その場で精算するので請求時外税というものはないため)

3) 明細情報(明細部) 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、受注内容を商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。


明細情報													
行No	削除	伝区 出荷	商品コード	品名2 品名	倉庫コード 倉庫略名	明細納期	受注数量	種別 単位	受注原単価 受注単価	受注原価 受注金額	外貨単価 外貨金額	仕入先コード 仕入先略名	備考 税区分
1	<input type="checkbox"/>	掛受注	PK2009	自給品+KTL-P	0004				132.8	388,430	2,4713		
	<input type="checkbox"/>	未納	Harness Toyota 420A RAV4 86101-0R190RH	中部倉庫			3,000.0 pcs		242.1	726,562	7,413.90		
2	<input type="checkbox"/>	掛値引	PK2009	自給品+KTL-P	0004				0.0	0	-0.1000		
	<input type="checkbox"/>	未納	Harness Toyota 420A RAV4 86101-0R190RH	中部倉庫			3,000.0 pcs		-9.8	-29,400	-300.00		
3	<input type="checkbox"/>	摘要							0.0	0	0.0000		
									粗利	率	金額計	合計金額	外貨合計額
									298,732	43%	897,162	697,162	7,113.90

明細部


計行

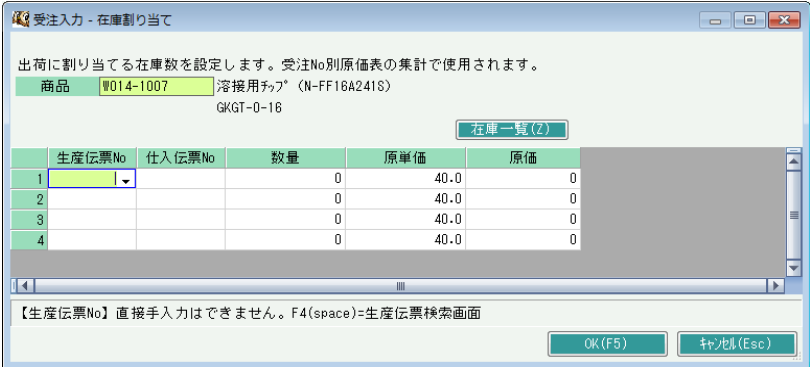
項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 256行まで入力可能です。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 (チェック)	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。 見積伝票からリレーして作成した場合、既に受注リレー済みの明細は削除チェックONの状態で初期表示されます。
伝区 (伝票区分)	以下の伝区より選択します。 伝区は現掛区分の設定によって現金/掛に変わります。 以下では掛売の場合で説明します。 現金の場合は読み替えてください。(掛受注→現受注など) <ul style="list-style-type: none"> ・掛受注 ... 通常販売する商品を指定する場合に選択します。 倉庫を指定している場合、有効在庫をおさえることができます。 ・掛値引 ... 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。 納期、受注原価、倉庫は入力できません。 単価を入力すると自動でマイナス表示になります。 明細合計に対しての値引きを入力する場合は値引用商品を 予め登録しておき、それを使用します。 ・掛経費 ... 諸経費を入力する場合に選択します。 納期、受注原価、倉庫は入力できません。 諸経費を入力する場合、「送料」などの商品を商品マスタに登録しておき 商品に「送料」を指定します。 諸経費で入力された商品は在庫増減されません。(倉庫選択不可) ・摘要 ... 摘要行を入力する場合に選択します。 品名、品名2と備考のみ入力できます。 同時発注した場合、発注伝票にコピーされます。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから 選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。 ・メモ ... メモ入力する場合に選択します。 摘要行と違い、メモ行は対外文書には印字されません。 同時発注した場合、発注伝票にコピーされます。 <p>同時発注した場合や、分納して売上リレーした場合、摘要行、メモ行はすべての 発注伝票、売上伝票にコピーされます。</p>

項目名称	説明
出荷	<p>受注明細の出荷状況を表示しています。 受注Noを指定しての売上(リレー売上)を行うと出荷状況が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未納」・・・まだ1つも売上されていません。新入力時は全て「未納」です。 ・「一部」・・・売上されていますが完納にはなっていません。 ※売上時に数量「0」で入力されている場合も「一部」と表示されるの注意。 ・「完納」・・・すべて売上されて完了している状態です。 <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納と一部は受注残の扱いとなります。 ・売上传票で受注残数より少ない数を入力した場合、自動的に未納になります。 ただし売上明細の「出荷」をクリックして手動で修正することにより受注残<売上数の場合でも「一部」の状態にすることができます。 反対に受注残>売上数の場合でも「完納」にすることができます。 ・出荷状況の印字箇所はありませんが、受注明細表で受注残数を出力することができます。 ・摘要行、メモ行は売上にリレーされますが、受注残の管理や出荷状況の管理は行いません。
商品コード	<p>受注した商品コードを入力します。伝区が「摘要」「メモ」以外は入力必須です。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品コードを入力すると、商品マスタに設定されている「倉庫」「品名」「品名2」「入数」「単位」「仕入先」「商品種別」が初期設定されます。 「明細納期」はヘッダに指定されている納期が初期表示されます。 ・運用設定の登録内容によってはSpaceキーで商品参照すると伝票の得意先=商品マスタの得意先の商品を表示することができます。 商品を主に決まった得意先に売り上げる場合に使用します。 ・F3キーまたは、ダブルクリックでその商品の登録画面が表示されます。 ※表示された商品登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度商品を指定しなおして下さい。
品名	<p>受注する商品名を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品名は空白でも伝票登録可能です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
品名2 (型番、規格)	<p>受注する商品名の補足情報を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品名2は空白でも伝票登録可能です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 ・品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。

項目名称	説明
倉庫	<p>受注した商品を出荷する予定の倉庫を選択します。 商品マスタに倉庫が指定されている場合はその倉庫を初期表示します。 SpaceまたはF4キーにて表示される倉庫別在庫一覧から選択変更もできます。</p> <p>在庫管理する商品で伝区が経費、摘要、メモではない場合、設定できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 在庫管理が不要の商品は倉庫を指定できません。 在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。 指定したい倉庫が倉庫別在庫一覧に表示されない場合、 「未登録の倉庫を選択」ボタンで表示される倉庫一覧から選択してください。 
明細納期	<p>納期を行ごとに年月日で入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 明細納期には受注日以降の日付しか指定できません。 有効在庫計算の在庫引き落日は、ヘッダ納期ではなく明細納期が使用されます。
受注数量	<p>受注数量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の入力は必須ではありませんが、在庫管理する場合は数量を入力しなければ反映することができません。 数量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。

項目名称	説明
種別	<p>商品マスタに設定してある商品種別(受注)が初期表示されます。 表示後の変更も可能です。 リストには商品種別マスタで「受注(表示)」に「使用する」を設定している種別が表示されます。 種別ごとにデータ集計したい場合などに利用できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none">・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
単位	<p>数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されますが、変更できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none">・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
受注原単価	<p>受注原価の単価を入力します。 伝区が受注の場合のみ入力可能です。 商品マスタの売上原価計算法に設定に応じて原価単価が初期表示されます。 手入力による訂正も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none">・商品の売上原価計算法に「倉庫別移動平均」を指定している場合、「受注日」「倉庫」を変更したとき再設定されます。入力はできません。・商品の売上原価計算法に「最終仕入」を指定している場合は「受注日」を変更したときに再設定されます。
単価	<p>受注単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では得意先マスタの単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。</p> <p>SpaceまたはF4キーにて単価情報画面が表示されます。 単価情報画面には商品マスタに登録されている単価と得意先商品別単価、数量別売上単価が表示されます。この一覧から単価を選択し直すこともできます。 得意先マスタに設定されている単価掛率も表示されます。掛率は変更できます。 ただし、商品マスタの掛率要否が「不要」場合、掛率は表示されません。 商品マスタの予定数量管理用費が「必要」の場合、償却予定数量と売上累計数量が表示されます。不要の場合は表示されません。</p> <div><div>単価を選択し、OKボタンにて採用。 掛率を変更することも可能。</div><div><div>売上単価計算</div><div><div>単価区分</div><div>数量</div><div>単価選択</div><div><div>登録税抜単価</div><div>売上単価10.00</div><div>売上単価20.00</div><div>売上単価30.00</div><div>売上単価40.00</div><div>標準売上単価100,000.00</div><div>得意先商品別単価90,000.00</div><div>数量別単価(納入先無)70,000.00</div></div></div><div><div>単価計算</div><div>得意先掛率100%</div><div>採用単価100,000.00</div><div>OK(F5)</div><div>キャンセル(Esc)</div></div></div><div><div>該当する得意先と商品で数量別売上単価を登録している場合、数量別単価が表示されます。</div></div></div>

項目名称	説明
	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価の小数以下桁数は、運用設定で変更できます。 ・通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、「外貨単価 × レート」が売上単価に表示されます。 <p>F3キーにて売上単価履歴が表示されます。 初期表示では得意先と商品が伝票と同じ受注、売上を表示しますが条件を変更して再検索できます。</p> 
受注原価	<p>受注数量 × 受注原単価が表示されます。手入力も可能です。</p> <p>小数点以下の端数は、得意先マスタの金額端数区分の設定が採用されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注金額と受注原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。 ・商品の売上原価計算法に「倉庫別移動平均」を指定している場合、「受注日」「倉庫」を変更したとき再設定されます。入力はできません。
受注金額	<p>受注数量 × 単価の値が表示されます。マイナスの入力も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や単価を入力せずに受注金額のみ手入力することもできます。 ・通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、「外貨金額 × レート」が受注金額に表示されます。
外貨単価	<p>海外の得意先のみ使用できます。</p> <p>通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、こちらに単価が初期表示されます。 外貨単価を入力すると「外貨単価 × レート」が受注単価に表示されます。</p> <p>小数点以下の表示桁数は、通貨マスタで設定します。</p>
外貨金額	<p>海外の得意先のみ使用できます。</p> <p>通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、「外貨単価 × 数量」が表示されます。 外貨金額を入力すると「外貨金額 × レート」が受注金額に表示されます。</p> <p>小数点以下の表示桁数は、通貨マスタで設定します。</p>
備考	<p>明細行の備考として任意の文字列を入力できます。</p>
仕入先	<p>同時発注する場合は仕入先を指定します。 商品マスタの仕入先が初期表示されます。 SapceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入先を指定していると、受注同時発注画面が表示され、受注伝票の内容が発注伝票にコピーされます。 ・仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定されている仕入先は指定できません。

項目名称	説明
マーク (チェック)	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで 明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。
発注	表示している明細行に紐付けられている発注伝票がある場合、 ”有”が表示されます。 摘要行、メモ行には”有”は表示されません。
生産	この受注明細に紐づく生産伝票がある場合のみ「有」と表示されます。
在割	<p>入力した内容は受注No別原価表の集計で使します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注数を全数発注せず、在庫から出庫(売上)した ・受注数を全数生産せず、在庫から出庫(売上)した <p>上記の場合に在庫から出庫した数量を指定します。</p> <p>在庫割当画面</p>  <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産伝票、仕入伝票を伝票明細参照画面より指定すると、指定した伝票の 単価が、原単価に設定されます。 ・以下の場合に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受注数量が100個。そのうち発注が70個、在庫より出荷が30個 ・ 受注数量が100個。そのうち今回が70個、在庫より出荷が30個 <p>このような時に、在庫割当画面で 30個と原単価、原価を指定すると 受注No別原価表で在庫割当分として受注原価に集計されます。</p> ・受注数量<割当数量 の時、更新時に警告メッセージが表示されますが、 受注数量<割当数量+発注数量+生産数量 のチェックは行なっていません。 受注No別原価表で確認時に正しくなかった場合、は割当数を修正して下さい。

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
 計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
 その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

項目名称	説明
粗利益率	<p>伝票全体の $\text{粗利益} = \text{受注金額計} - \text{受注原価計}$、$\text{率} = (\text{粗利益} / \text{受注金額計}) \times 100$ で計算され表示されます。 画面には下8桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 ・率の小数点以下は四捨五入となります。
金額計	伝票全体の受注金額合計が表示されます。
税額	<p>伝票毎外税の得意先の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。表示されている消費税額を手入力で修正することも可能です。画面には下7桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <p>例) 100円の商品を受注し、外税が5円だった伝票の税額を、4円に修正して登録した場合、受注明細表には以下のように印字されます。</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 ⇒ 税込出力で105円と表示</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 行256 消費税 受注金額 -1円 ⇒ 行No256の消費税伝票が自動で作成され、修正差額分を受注金額にセットして、端数調整する。</p> <p>伝票毎内税の得意先の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。 請求時外税の得意先の場合、税額の欄は表示されません。</p> <p>伝票毎外税は以下の通りです。 伝票毎外税...明細行毎に消費税を計算(調整税)しますが伝票税は伝票の合計金額で算出します。</p>
合計金額	金額計+税額 の値が表示されます。

5) 受注伝票更新におけるその他注意事項

修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・修正で伝票を開いた場合、出荷区分が「一部」または「完納」の明細行は品名1、2と備考欄のみ修正可能です。
- ・商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量＋受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
- 警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、更新できません。

削除

- ・出荷区分が「一部」または「完納」となっている行が1行以上ある受注伝票は削除できません。
- 先に売上傳票の削除が必要です。(売上を削除すると受注明細は「未納」に戻ります)
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、削除できません。

※発注入力の修正の場合

- ・伝票を修正登録した場合、発行済みだった注文書は未発行状態に戻ります。
- (即時印刷機能が有効の場合、再度即時印刷できます)

新規、修正、削除 共通

- ・商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量＋受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
- 警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。

6) 与信チェック

受注入力では、運用設定の設定により伝票更新時に与信チェックが行われます。

- 与信限度額チェックをする・・・登録時に得意先マスタに登録された与信限度額をオーバーしていないかチェックを行います(警告、エラーが設定されている場合)
- 営業債権で与信チェックをする・・・与信限度額をチェックをするとき、受注残を含めるか含めないかを指定します。

与信チェックされる内訳金額は、画面上部メニューの「その他」-「得意先債権情報の表示」から確認できます。

得意先債権情報			
H1A023 有限会社セントラルク		与信限度額	800,000
売掛残高	96,400	買掛残高	10,240
未落受手	50,000	未払残高	2,000
売掛債権	146,400	未落支手	3,240
		買掛債務	15,480
		前受残高	3,000
純売掛債権			
(売掛債権－買掛債務－前受残高)			
受注残	666,360		
営業債権	794,280		
(純売掛債権＋受注残)			
閉じる(Esc)			

得意先債権情報画面

Point

- ・消費税は全て調整税で集計されます。
- ・買掛残高、未落支手、買掛債務は得意先マスタの「相殺仕入先」が設定されている仕入先に対する金額を集計します。
- ・発注入力には与信チェックはありませんが、「その他」-「仕入先債務情報の表示」からほぼおなじ画面が表示されます。
- ・仕入先債務情報では、伝票日付(発注日)時点の、一括税が集計されます。
- ・仕入先債務情報に表示される売掛残高などは、仕入先マスタ相殺得意先に設定されている得意先の金額を集計しています。

項目名称	説明
与信限度額	<p>与信限度日までの与信限度額 $\text{粗利益} = \text{受注金額計} - \text{受注原価計}$、$\text{率} = (\text{粗利益} / \text{受注金額計}) \times 100$ 臨時の与信限度日が設定されている場合、 与信限度日→臨時の与信限度日、与信限度額 → 通常+臨時の与信限度額 臨時の与信限度日が設定されていない場合は 与信限度日→通常の与信限度日、与信限度額 → 通常の与信限度額)</p>
売掛残高	与信限度日までの売掛残高金額 (調整税で集計)
未落受手	<p>伝票日付(受注日)時点で手形期日が未到来の手形入金額</p> <p>Point 伝票日付(受注日) ≤ 期日 の場合、未落ちと判定されます。</p>
売掛債権	売掛残高 + 未落受手
買掛残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の買掛残高 (調整税で集計)
未払残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の未払残高 (調整税で集計)
未落支手	伝票日付時点での、得意先マスタ相殺仕入先の未落支払手形
買掛債務	買掛残高 + 未払残高 + 未落支手
純売掛債権	<p>売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高</p> <p>Point 運用設定が以下の設定の場合、純売掛債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 与信限度額チェックをする → 警告、またはエラー 営業債権で与信チェックする → しない</p>
受注残	<p>登録済みの全受注残金額 (調整税で集計)</p> <p>Point 受注日は関係ありません。登録されている全受注伝票が対象です。 税込み金額です。税処理区分が「請求時外税」の場合、調整税(みなし税)が含まれます。</p>
営業債権	<p>純売掛債権 + 受注残金</p> <p>Point 運用設定が以下の設定の場合、営業債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 営業債権で与信チェックする → する</p>